

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	県民須坂運動広場	所在地	須坂市臥竜三丁目 5 番 1 号			
施設分類	スポーツ・観光系施設	所管課	文化スポーツ課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	145.33			
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当			
設置根拠	須坂市体育施設条例	設置の目的・経緯	体育の振興を図るため		交通アクセス	バス停県民グランドから徒歩6分
事業内容	須坂市ゲートボールフェスティバル	貸付の有無	有			
管理運営の状況	その他	委託内容	使用料収受については公益社団法人須高広域シルバー人材センター			
備考（その他特記事項）						

2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上		地下		建築面積		延床面積	145.33
構造 （主たる建物）	W造				建築年度 （主たる建物）	1972	築年数 （主たる建物）	52
取得価格	14,988,300				耐震化の状況		管理棟及び倉庫（百々川側） 耐震診断未実施	
帳簿原価	17,881,500				バリアフリー対応			
減価償却累計額	14,512,197				省エネルギーの対応状況			
老朽化率	81%				施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位（千円）

		2022	2023	2024	3年間の平均値
費用	人件費	999	1,059	1,100	1,053
	委託料	603	247	951	600
	光熱水費	49	54	249	117
	維持補修費	4,254	616	369	1,746
	減価償却費	0	56	226	94
	指定管理料				
	その他	307	230	73	203
	費用合計	6,212	2,262	2,968	3,814

収入	利用料等収入	156	202	226	195
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		156	202	226	195

収支	-6,056	-2,060	-2,742	-3,619
利用者一人当たりコスト	1.11	0.37	0.35	0.57

修繕履歴	金額	1,282	内容	2022年度 管理棟側トイレ改修工事
		1,183		2022年度 百々川側女子トイレ改修工事
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	誰でも	
開館時間	平日	午前5時から午後7時
	休日	午前5時から午後7時
休館日	12月から2月	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	5,616	6,067	8,446	6,710	26%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用時間		1,040	1,039	1,040	0%
年間利用可能時間		3,465	3,465	3,465	0%
稼働率		30%	30%	30%	0%

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	県民須坂運動広場
---------	----------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
合計		1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
合計		4	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	C	-1	75%以上100%未満
耐震性能	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
合計		-3	

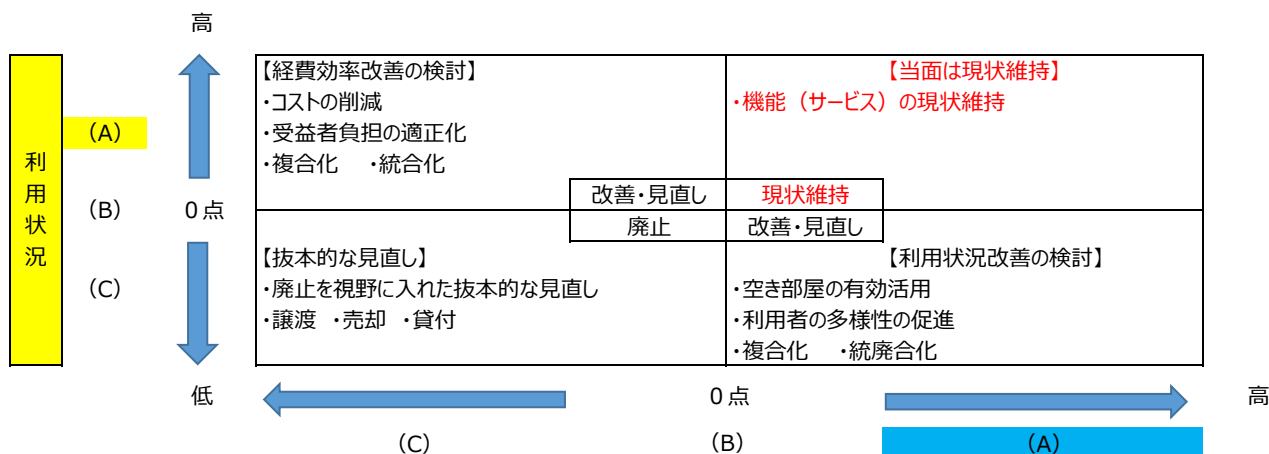
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	1
縦軸	必要性による評価	4
	合計点数	5

【当面は現状維持】



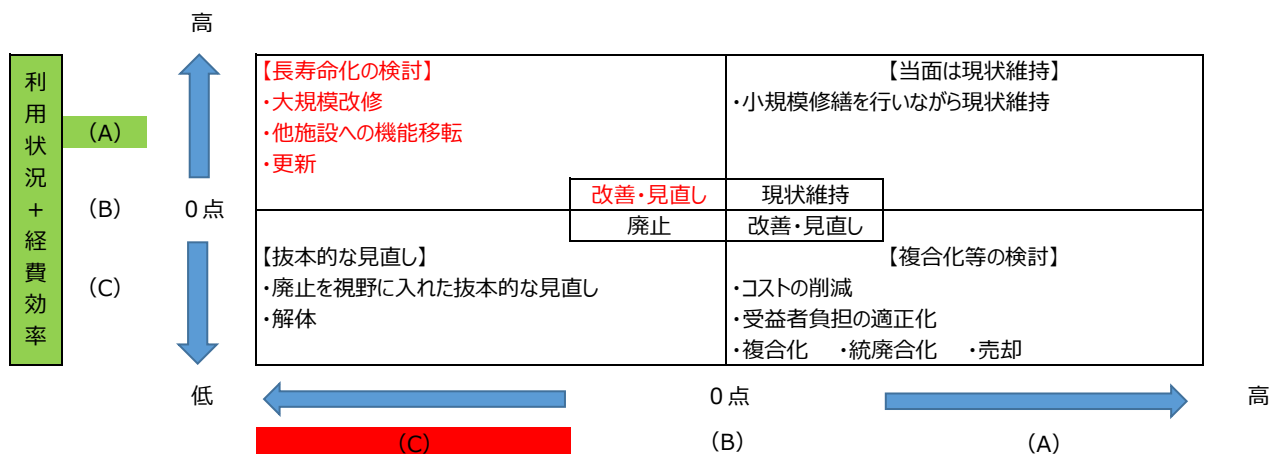
経費効率

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-3	横軸
縦軸	必要性和経費効率からの評価	5	縦軸
	合計	2	

【長寿命化の検討】



建物性能

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下